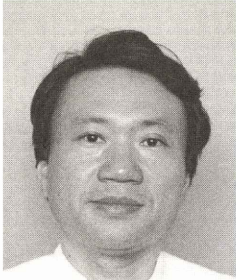


# 「長崎市における地域う蝕予防管理システム研究事業結果と考察」



長崎大学医学部附属病院地域医療連携センター  
助教授

川崎 浩二 (かわさき こうじ)

## ●略歴

1983年	新潟大学歯学部卒業
1983年	長崎大学助手(歯学部予防歯科学講座)
1990年	長崎大学講師(歯学部附属病院予防歯科)
1992年～93年	Eastman Dental Center, Oral Sciences(米国)で研修
1997年～98年	Groningen大学, Materia Technica(オランダ)で研修
2003年	長崎大学助教授(医学部附属病院地域医療連携センター)

本研究の目的は、かかりつけ医を基盤とした地域う蝕予防システムモデルを構築し、①予防管理への参加率ならびに継続期間 ②予防効果 ③地域格差・歯科医院格差 ④簡便なりスク評価法 ⑤費用－効果について評価することであった。

平成11年度に長崎市1歳6ヶ月児健康診査を受診した全員を対象に、市内の45協力歯科医院において3歳6ヶ月までの2年間、定期的予防管理を無料で実施し、3歳児健康診査(3歳6ヶ月で実施)で評価した。その結果、

1) 参加率は約65%であり、参加者の約3分の1は18ヶ月以上継続して管理を受けた。対象年度の翌年は従来どおり有料で行ったところ、参加率は12.6%に激減したことから、患者支払額は参加率に大きな影響を与えることが示された。

2) 1歳6ヶ月時点での不参加群のう蝕有病者率は7.0%、参加群は4.5%であり、不参加群は既にベースライン時からハイリスクであったこと、そして本来はハイリスク者にこそ必要な予防管理が供給されるべきであるにもかかわらず、実際は無料でも予防管理を受けない傾向が高いという現実が明らかとなった。

3) 3歳児健診におけるう蝕罹患率(incidence)は、参加群：25.5%、不参加群：42.4%であった。予防管理継続期間別の評価から予防管理継続期間が6ヶ月未満の3歳児う蝕罹患率は不参加群とほとんど差が認められなかったが、6ヶ月以上ではその継続期間が長くなるほど、う蝕罹患率も低下した。

4) 31中学校区別の3歳児う蝕罹患率は、最大値：47.5%～最小値：22.0%であり、大きな地域格差が認められた。

5) 管理群を歯科医院別に評価した結果、3歳児う蝕罹患率は41.4%～0.0%という医院格差が認められた。さらに歯科医院別の平均管理継続月数にも最大値：23.0ヶ月～最小値：44ヶ月という大きな差が認められた。

6) 3歳児健診時のう蝕の有無を目的変数、1歳6ヶ月児健診時に実施した歯科保健に関するアンケート項目を説明変数とし、ロジスティック回帰分析結果から有意な関連が認められた7項目のオッズ比をもとに重み付け点数を与え、その総得点から1歳6ヶ月児健診時にリスク分類を行う方法を開発した。このリスク評価法は対象地域の実際のデータに基づいているため地域の特性に対応でき、3歳児う蝕の予測を数値で表現できるというメリットがある。

7) 予防管理費用ならびに3歳児における処置歯、未処置歯の治療費、潜在的治療費を保険点数から試算した結果、予防管理費用の総額は約3,600万円であった。介入による治療費の節約額ならびに効果の差(健康度の向上)をもとめ、費用－効果分析の指標として、増分費用効果比ならびに費用便益比を算出した。費用－効果分析は、①介入年度と対照年度の比較 ②参加群と不参加群の比較ごとに行った。介入年度と対照年度の比較の結果は、長崎市3歳児3,300人中のう蝕の無い者を1名増やすために平成11年度～13年度で158,000円の費用がかかった計算となる。これは

別の見方をするとdmfを1本減少させるために20,000円の費用がかかったことに等しい。費用便益比（便益費／予防管理総費用）は0.18であった。参加群と不参加群の比較からは、う蝕有病者率を16.9%減少させ、dmft-indexを0.88本減少させるために2年間で一人当たり10,847円かかり、費用便益比（一人当たり便益費／一人当たり予防管理費用）は0.28であった。

小児歯科は小児を対象とするが、その小児は将来、成人となり、老人となる。従って、地域住民の生涯にわたる口腔保健を担うために、我々小児歯科はどういった役割を果たすべきかを考える必要がある。本研究事業の結果に加えて下記の事項もふまえながら考察していきたい。

- 1) う蝕罹患の双極化とう蝕治療の特質
- 2) Population StrategyとHigh Risk Strategy
- 3) う蝕以外の口腔疾患（咬合、歯周病等）の予防を含めた口腔機能育成
- 4) ターゲットとすべき年代層はどこか？
- 5) 医療保険制度

## MEMO